ACCUのESD推進事業

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）
大安喜一

ACCU
Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO

ACCUについて

Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO
公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター

- **日本政府と民間の協力により、1971年に設立**
- **ユネスコの理念に基づき、教育や文化活動を通してアジア・太平洋地域の平和で持続可能な社会の創造を目指して活動を展開**

1970年～
文化と図書開発

1980年～
図書開発から識字教育事業

1990年～
アジア太平洋地域内ネットワークの拡充

2000年～
万人のための教育(EFA)に関わる事業

2005年～
ESD推進事業開始

ACCU　ビジョン

多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現

地域の実践と世界との往還

ユネスコスクール事務局

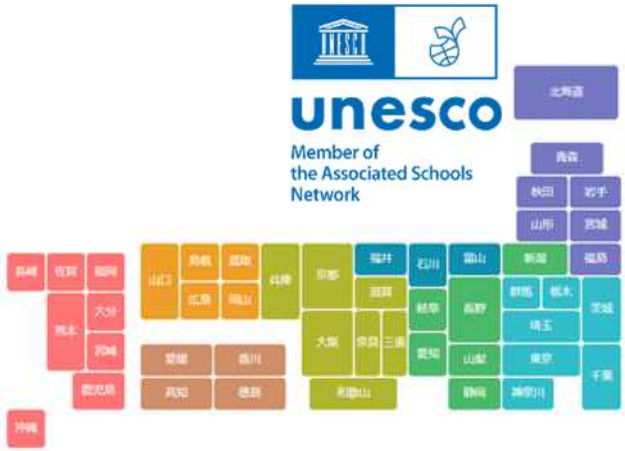
ASPnet (Associated Schools Network)

ユネスコの理念を学校現場で実践するために1953年に発足した、国際的なネットワーク

- 世界182か国で12,000 校以上がASPnetに加盟
- 日本には1,000校以上、世界最多、日本ではESD推進拠点として位置づけ
- 大学支援ネットワーク（ASPUnivNet）による支援

加盟校同士が活発に交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指す

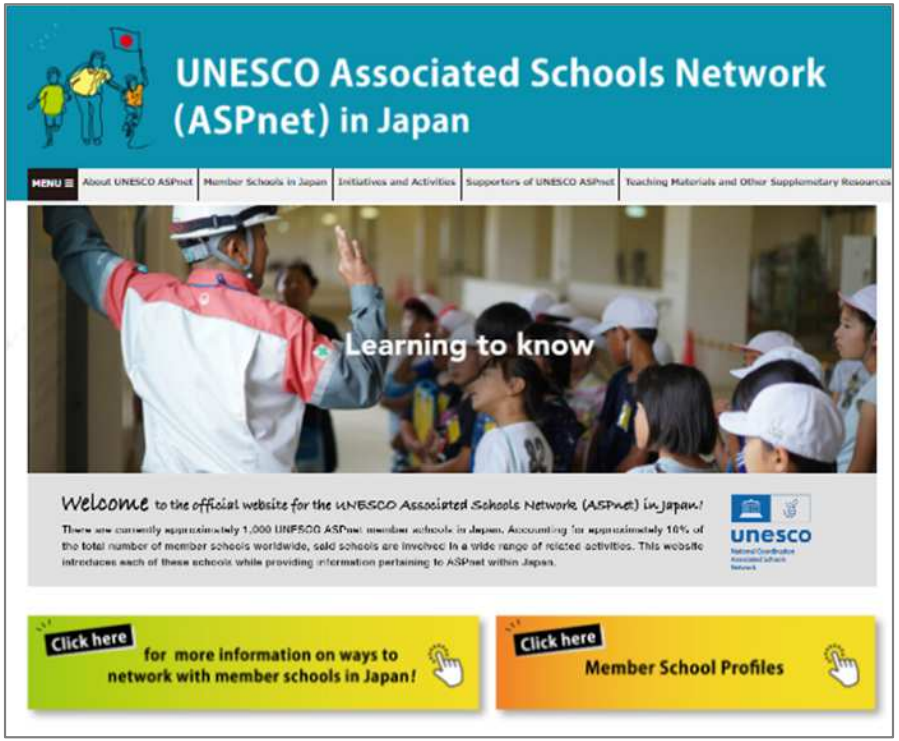
- 地球市民および平和と非暴力の文化
- 持続可能な開発および持続可能なライフスタイル
- 異文化学習および文化の多様性と文化遺産の尊重



ACCUは、事務局として、加盟申請、活動支援、交流、ネットワーキング、全国大会等フォーラム開催、情報収集と発信

ホームページによる情報発信

https://www.unesco-school.mext.go.jp/ （日本語）



https://www.unesco-school.mext.go.jp/schools/en/

(English)

https://www.facebook.com/aspnet.japan/?ref=embed_page

ウェブサイト

Facebook

ESDの評価手法開発

学校教員を中心に「持続可能な社会の創り手」にあるべき資質・能力、人材育成のための教員・学校のあり方を議論

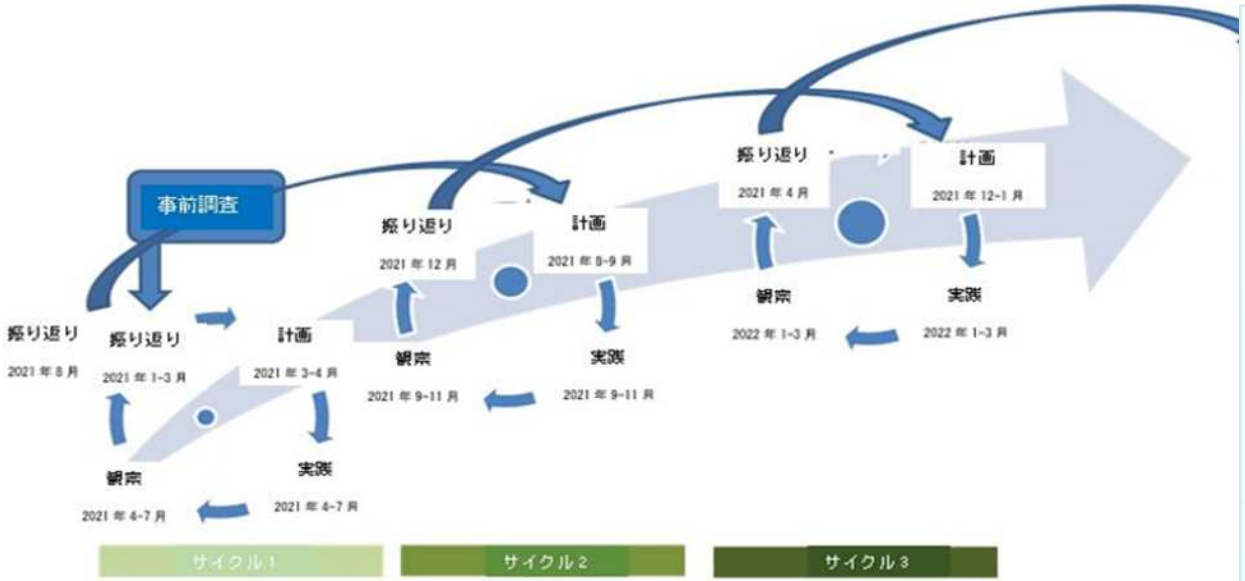
2019年度：カリキュラム・教材開発に焦点を当て、参加教員の事例を紹介。

2020年度：ESDの評価のあり方を検討しフレームワークを作成。

2021年度：教員らのアクションリサーチから児童・生徒評価のモデル手法開発。

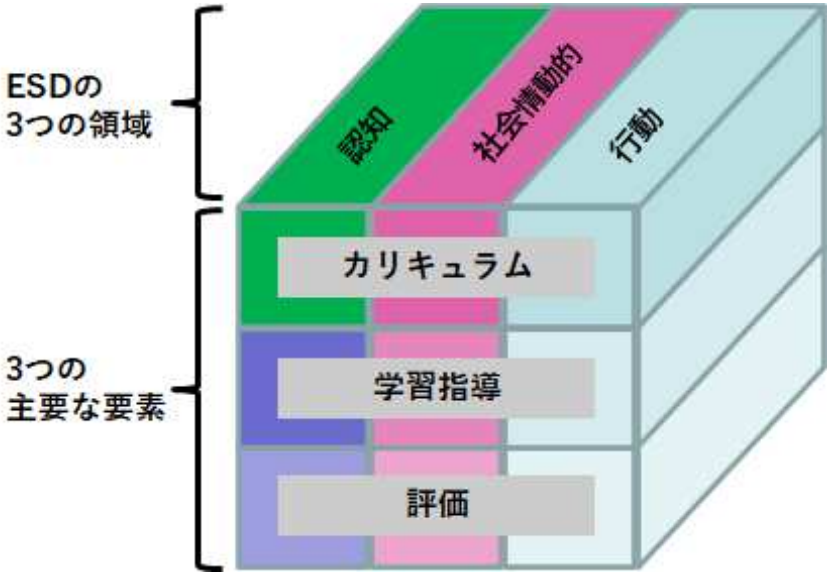
2022年度：国内外の既存の教育評価を参照し評価手法の実効性を検証し発信。

ASPnet ESDアクションリサーチ



ユネスコ・バンコク事務所事業（2020～2022）

- ベトナム、タイ、日本
- アクションリサーチによるESD実践のまとめ、共有
- オンラインによる学校間交流の実施
- 地域会合（東京・2022）
- グローバル事業への展開

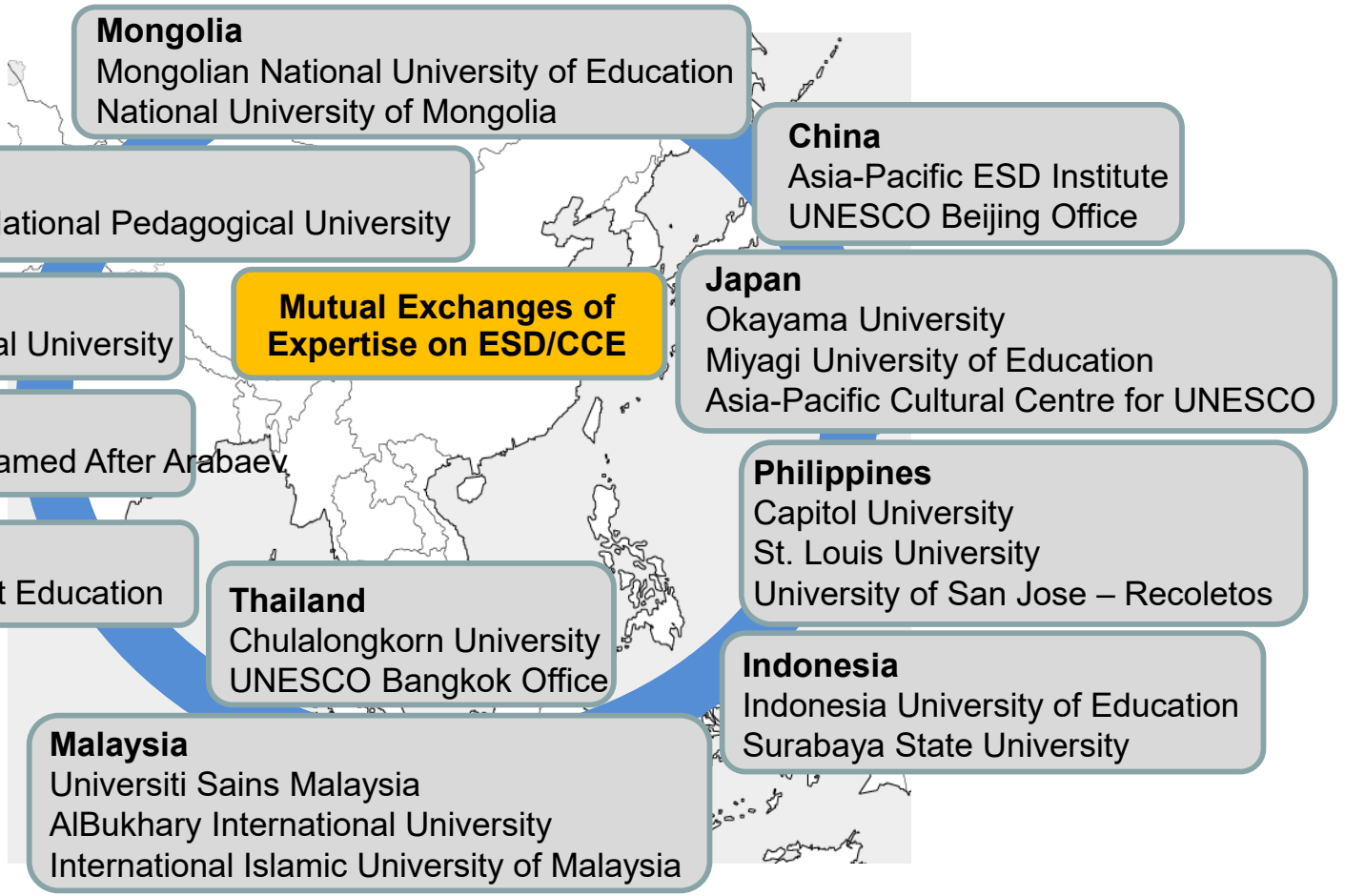


海洋保全教育プロジェクト

糸魚川ジオパークを中心に研修会
合実施（2024年11月

- ユネスコバンコク事務所事業（2024年～2026年）
- タイ、インドネシア、ベトナム、日本
- 海洋ごみの削減を含む海洋保全をテーマとしたESD実践
- ユネスコ登録事業（エコパーク、ジオパーク等）の指定地でプロジェクトを実施
- 海洋保全教育に関する教材開発
- 日本では、ユネスコスクールを中心に既存教材の収集、海外との交流
- 大阪・関西万博でのセッション（2025年7月・9月）

気候変動に対する教師教育



- **岡山大学を中心にアジア11か国の大学・研究機関・ユネスコと共同で、Framework, online講義を開発（2021～）**
- **学校教員の意識・実践調査、研修教材の開発（2024~）**

地域に根ざしたESD推進

- ユネスコ・バンコク事務所による地域事業（2018 – 2021)
- 日本、ラオス、インド、モンゴル、フィリピンが参加
- 公民館やコミュニティ学習センター（CLC）を通した地域づくりのための学習、伝統知の活用、世代間学習

活動の振り返り―共有-行動のスパイラルな循環

ユネスコ・バンコク事務所によるガイドブック
https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000377052

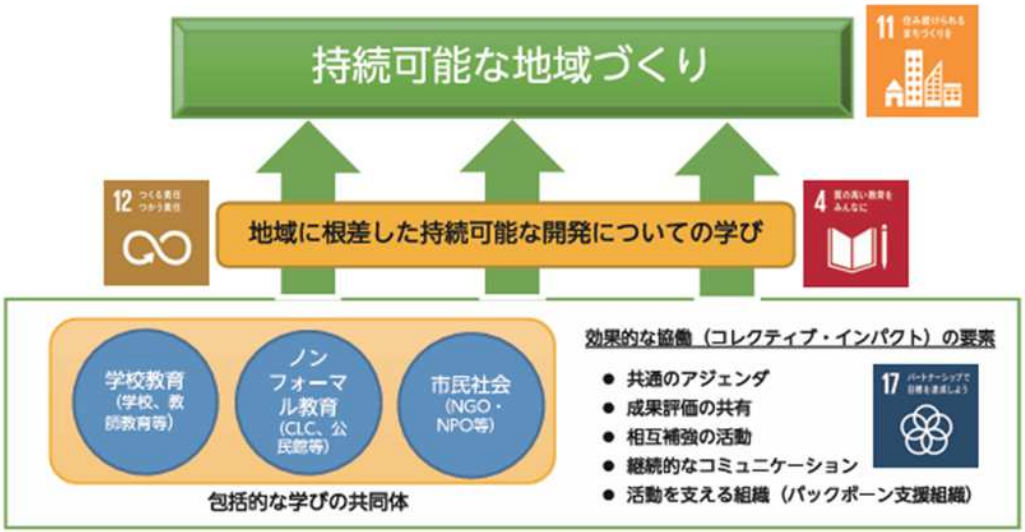
インド・環境に配慮した養蜂業

モンゴル・伝統技術の継承

平塚・海岸清掃活動のESD意味付け

持続可能でインクルーシブな地域づくり

- 学びと協働による持続可能な地域づくり（2019 – 2021）: 日本、インド、バングラデシュ、フィリピン
- インクルーシブな地域づくり（2022 – 2024）: 日本、カンボジア、フィリピン



- 地域づくりにおける教育施設と多様なステークホルダーの協働によるコレクティブインパクト
- 学習など社会参加が難しい人々のエンパワメントとインクルージョン

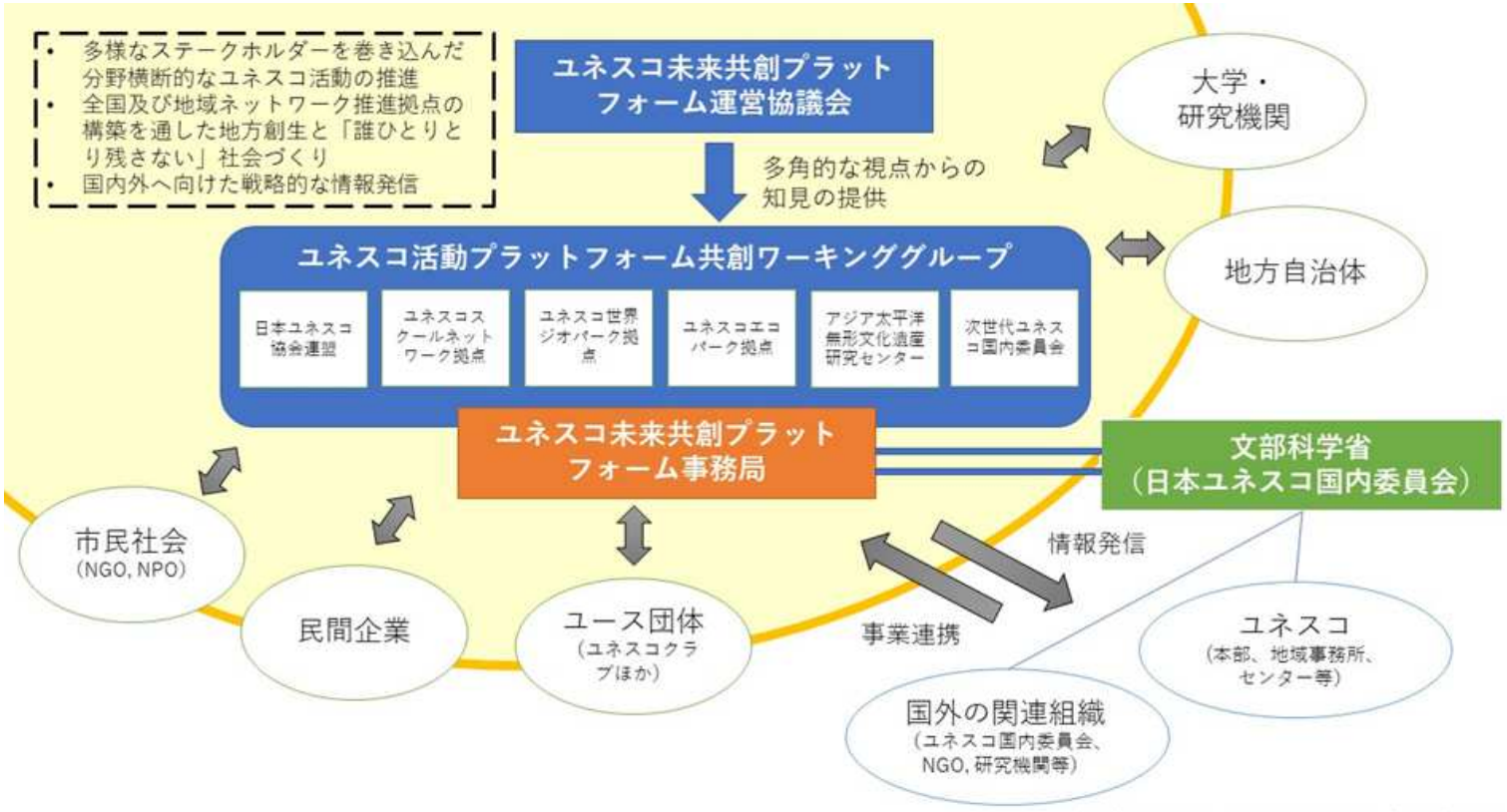
フィリピン・経済活動によるエンパワメントと地域防災への取組

松本市・公民館を拠点にイベントや交流を通じた情報共有と学び

ユネスコ未来共創プラットフォーム事業
（プラットフォーム事務局運営）

【事業目的 】

- ■ 多分野にわたるユネスコ活動の横のつながり強化
- ■ SDGsの実現に向けて積極的に取り組む多様なステークホルダーの連携
- ■ ユース世代を巻き込んだユネスコ活動の充実
- ■ 活動成果の国内外への戦略的発信
- ■ 国内のユネスコ活動と国際協力の成果の往還



（公財）ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）作成

- ✓ 2020年に文部科学省による委託事業として開始
- ✓ 2022年7月よりACCUが事業運営受託

ユネスコ UNESCO Future co-creation platform 未来共創プラットフォーム

セクター横断型「ユネスコウィーク」

11/29（金）18:00～19:30	日本語 英語	国際シンポジウム「持続可能な未来へと続く持続可能なコミュニティ」
11/30（土）10:00～18:00	日本語	第16回ユネスコスクール全国大会「社会に開かれたユネスコスクール ー多様性と共生の未来への貢献ー」
12/01（日）10:30～17:30	日本語	ユースフォーラム「『今から、ここから、わたしから』ーユースが集い、創るユネスコ活動の未来ー」

3日間で国内外から、のべ約550人が参加

ユネスコ UNESCO
Future co-creation platform
未来共創プラットフォーム

トップページ | 文字サイズ 小 中 大 | English

ユネスコとは | ユネスコ未来共創プラットフォームとは | ユネスコ活動関連団体 | コラム | ライブラリー | お問い合わせ

UNESCO
Future Co-creation Platform

https://unesco-sdgs.mext.go.jp/

ACCU
Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO

https://www.accu.or.jp/